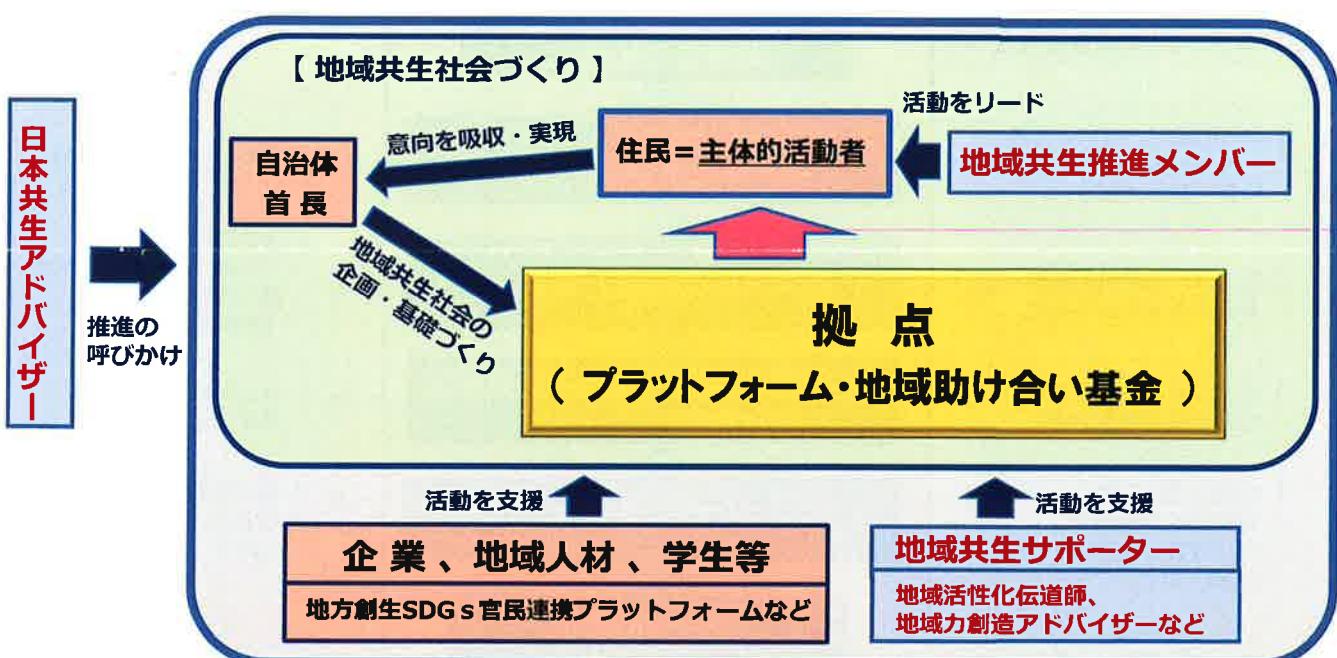


# 地域共生社会実現に向けて



## 1. 地域共生社会づくり推進体制



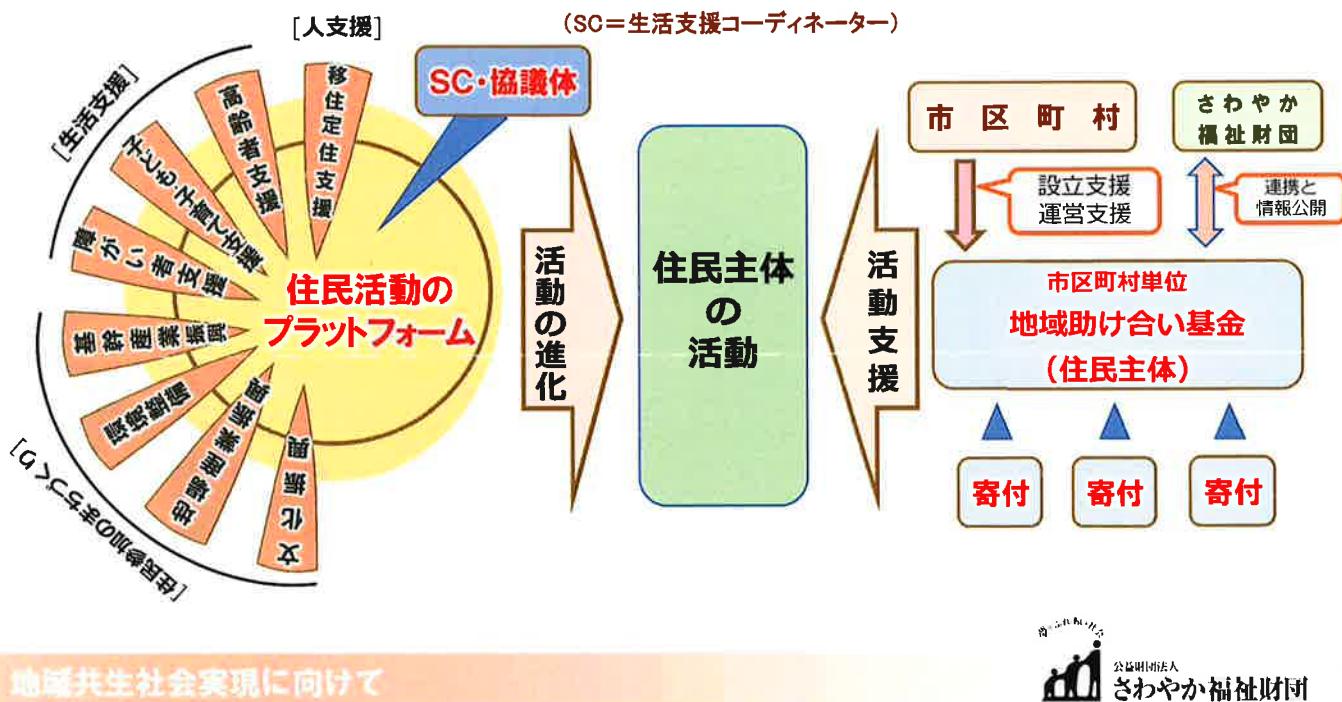
## 2. 地域共生社会づくり推進のための仕組み

### 【 プラットフォーム 】

- ・地域共生に資する住民活動及びそれを支援するものが連携する場
- ・情報交換により各分野の住民活動が有機的に連携・協働して展開されることとなる

### 【 地域助け合い基金 】

- ・金・情報・人・モノの支援により住民の活動を活性化する



## 3. 住民活動のプラットフォームのイメージ

プラットフォームの活動で  
誰もが幸せになる地域共生社会へ

- ① 地域包括関係者、  
関係福祉分野担当、  
住民有志（自治会、  
NPO）など
- ② 住民フォーラム・懇談会  
などで住民意思の確定
- ③ 立上げ・運営者の確保  
行政の支援方法の確定
- ④ 場所の確保、運営協力者  
・参加者の確保、資金の  
確保（基金の拠出）

例 1 : 共生の居場所

### 住民の役割の周知と 実践者の組織化

#### ④ 実施戦略の策定 (特に住民の役割)

#### ③ 解決方法の協議と確定

#### ② 課題の共有～住民の意見確定 ～意欲喚起

#### ① テーマに応じた PF\*の形成

### テーマの設定

行政担当部局 → PF事務局 ← 地方議会事務局

提言

住民有志（団地など）、町内会自治会、  
地域の諸団体、商工会など事業者組織

\* PF = プラットフォーム

④ 円滑な空き家への移住

③ 空き家利用権の確保  
(行政主導+住民協力)  
移住者受入体制  
(住民主導)

② 移住者用住宅確保へ  
住民の協力意思確認

① 関係行政担当、  
住民有志（自治会、  
NPO）、司法書士など

例 2 : 移住促進のための  
空き家の活用